



2019年9月27日

各 位

会 社 名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 久保 泰三
(コード番号2784 東証一部)
問 合 せ 先 コーポレートコミュニケーション部長 根 本 壮一
(TEL:03-5219-5102)

第三者による特別調査委員会の調査期間延長に関するお知らせ

当社は、2019年6月7日に公表いたしましたとおり、当社連結子会社であるアポロメディカルホールディングス株式会社(以下「アポロメディカル」といいます。)が運営する調剤薬局の一部で判明した薬剤服用歴管理指導料に係る不適切行為等につき、当社と直接的な利害関係を有しない社外有識者のみを委員とする第三者による特別調査委員会(以下「本委員会」といいます。)を設置し、調査を進めてまいりました。

当社は、本委員会の調査期間として3カ月程度を見込み、9月中を目途に本委員会から調査報告書を受領する予定でしたが、本日、本委員会より詳細調査に時間がかかり、報告書の提出が遅延する旨の申し出がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社の株主、投資家、市場関係者および取引先などのステークホルダーの皆様には、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 本委員会の調査期間が延期となる理由

本委員会の調査の目的は、アポロメディカルおよび当社連結子会社の株式会社日本アポック(以下「日本アポック」といいます。)の全店舗を対象とした、①電子薬歴システムの日付データの改竄(以下「改竄行為」といいます。)の調査、②調剤報酬請求のうち調剤報酬の請求日時点で薬歴が未記載であったもの(以下「請求日時点未記載」といいます。)の調査、③コンプライアンスおよびガバナンス上の問題点の調査、および④上記①②の原因分析と再発防止策の提言等、です。

本委員会の調査において、当社はアポロメディカルおよび日本アポックの2社が導入している数種類の電子薬歴システムに対するログデータ解析プログラムを作成し、そのプログラムを使って過去数年間に遡ってアポロメディカルおよび日本アポックのログデータ解析を行っています。このログデータ解析の対象には、両社が企業買収を行った店舗における買収前の過去のログデータも含まれています。

本委員会は、当社から提出されたログデータの解析結果を検証し、改竄行為や請求日時点未記載の状況を確認するほか、関係役員・社員全員のアンケート調査を実施し、さらに、必要に応じて個別ヒ

アリングを行う等、詳細な追加調査を現在も継続しています。当初の想定以上に調査に時間を要しているため、本委員会は、当初想定よりも調査期間を延長することといたしました。

2. 今後の見通し

当社は、本委員会による追加の詳細調査の実施と報告書の作成の目途として3カ月程度を見込んでおります。なお本委員会の調査結果受領後、当社は速やかに結果を公表いたします。

3. 業績に与える影響について

2019年6月7日付開示にてお知らせしましたとおり、過年度における金額的な重要性は極めて乏しいものと判断しており、今回の調査期間の延長の影響を含めてその判断を変えていません。そのため、当期会計年度の業績予想に変更はありません。また過年度の有価証券報告書、四半期報告書、内部統制報告書および決算短信の訂正も行わない予定です。

以上